

くまもとまちづくりラボ

【第4回】

令和8年(2026年)2月22日

1. 開会
2. 「(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン(骨子案)」及び「新庁舎整備基本計画(素案)」の検討状況の共有
3. 前回の振り返り
4. 本日のプログラム説明
5. グループワーク：
2040年のまちの姿(過ごし方、楽しみ方)をイメージする
ー働き、商い、住まい、憩い、訪れる人の「まちの物語48時間」ー
6. 各チーム発表
7. ファシリテーターからのアドバイス
8. 閉会

2. 「(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン(骨子案)」

及び

「新庁舎整備基本計画(素案)」の検討状況の共有

3. 前回の振り返り

1) 各チームの検討状況



チーム1「まちに人を呼び込むためのアイデア、まちが連鎖的にきれいになっていくアイデアを考える」

	現況		理想の方向性・必要機能等	その他アイデア
	活かすべき資源	問題・改善点		
コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> 通りごとに特性がある(上通・下通・新市街アーケード/並木坂/シャワー通り他) 上通など、文化が蓄積された通りがある 上乃裏通り付近はリノベした雰囲気のある個性的な店舗が多い(壱ノ倉庫、弐ノ式など) 屋台村 白川公園の茶室 熊本城、城彩苑 熊本城周辺の歴史的遺産 くまモンの人気 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本の中心部に長時間滞在しない 飲み屋のまちで夜だけ賑やか 多世代向けや子ども向けの施設が少ない 商店街周辺に分譲マンションが増えてきている 上乃裏通り付近の良さを継承していく仕組みや制度がない 音楽(演劇)ホールは市民が使いにくい(規模、価格、音響、予約) まちなかにTSMCの波及効果を受け止める場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> まちに若い人を呼びこみたい まちなかを若者、子ども、家族連れの場にしたい 学生が使える自習室がほしい 室内の幼児の遊び場がほしい 下通、上通、新市街の1階に大きなカフェがあるとよい 下通周辺の路地にランチができる飲食店が増えるとよい 上乃裏通りの良さを継承していくためにどのような仕組みでアプローチするのか TSMCの波及効果を活かす(産業拠点の創出、デジタルサービスの強化等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども向け施設 ・既存施設を子ども向けに使う(美術館の常設展示等) ■金券による動線づくり ・屋台村から始めるのはどうか ■観光客が来て楽しめるイベントをつくる
緑・オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> [花畑公園~辛島公園]は都心のオープンスペース [白川公園]はまちなかのグリーンスポット [白川][坪井川]沿いの緑 [蓮政寺公園]はまちを歩く人の休憩スペース 総合設計制度、優良建築物等整備事業、街なか再生事業等により創出されたオープンスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的なオープンスペースのネットワークがない 魅力的な広場が少ない アクセスしやすい緑が少ない [白川公園]あまり活用されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的なオープンスペースのネットワーク化 広場の効果的な活用 白川公園をもっと活かしたい(過去には植木市、早起き野球、サーカス等が行われていた) 白川の両岸の緑(オープンスペース)を活かしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ■オープンスペースを確保し、連続させる補助等の仕組みをつくる
回遊・滞在	<ul style="list-style-type: none"> [オクス通り]は歩きやすい 並木坂から新市街までの軸線を横断する細街路 上通りから新市街 市電が通っている 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な歩行空間が少ない まちなかが色々な道路で分断されている [上乃裏通り]は車と歩行者が混在 [銀座通り]は景観の向上が必要 [坪井川]は夜は暗くて近寄りにくい [熊本城]は本丸入り口が一か所のみ 電車通りの交通渋滞、水道町交差点周辺の休日の交通渋滞 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本城とまちの回遊を高めて観光客を集客する 上通、上乃裏通り、白川公園の回遊性を高めたい。総合庁舎跡地も加えて何かできないか [電車通り]をトランジット化したい [上乃裏通り]の歩行者空間化 中央区役所の建設予定地も含めて明るくなると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ■熊本城の開かずの門を開く(上通りに土産店ができるなどを期待) ■フリッジパーキングの整備 ■駐車場税の導入
景観・空間	<ul style="list-style-type: none"> [オクス通り]の雰囲気とグランガーデン熊本のセットバック空間が良い 	<ul style="list-style-type: none"> [光琳寺通り]、[西銀座通り]、[プールのスコート通り]などはもっと街並みの連続性があるといい 	<ul style="list-style-type: none"> 通りをきれいにする仕組みづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■通りごとの取組推進 ・通りごとの組合組成や勉強会を行う ・通りごとのルールづくりや行政との協働を進める ・まちづくりラボの継続のような場を設ける

ファシリテーターからのアドバイス

○コンテンツだけでなく、**環境資源を活かして空間的にまちをつなげる**ようなアイデアを検討してみてもどうか。例えば、通りを挟んで町を形成している古町のような発想で、両側に広場があることで空間につながるなど。

○既存の点をより強くして連携を生む方向もあれば、点が散らばっていることによって線になっていくと考えたときに、**間に点を増やしていく**方法もある。いろんな**バリエーション**を考えてみてほしい。

○**界わいの個々の文化を大事にしつつ、どうつなげていくか**を考えてみてほしい。「まちと白川をどうつなげるか」、「藤崎宮前のシンボリックな空間を活かす」など、今あるものを新しいコンテンツにしてPRしていく、つなぎ方を増やすなど。

チーム2「熊本を元気にするコンテンツを考える」

	現況		理想の方向性・必要機能等	その他アイデア
	活かすべき資源	問題・改善点		
コンテンツ	<p>[並木坂]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店・美容室・スーパーがあり、マンションが増え、住むには良い環境が整っている <p>[上通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜になると人がすっと引く、下通との色合いの違い <p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家賃が比較的安く若い人や個人店がチャレンジしやすい環境がある ・画一的ではない建物(戸建て)が並び、多様な業態を受け入れられる ・自分の飲食店や物販店のコンセプトに合った物件を見つけやすい <p>[下通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が遅くまで滞在し、夜の賑わいがある ・アーケードに風俗店を入れないよう商店街が踏ん張ってきた <p>[シャワー通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道が広く落ち着いた雰囲気がある ・コンセプトのあるお店が多い(イギリスの服等) <p>[坪井川沿い]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜は人を呼ぶコンテンツの一つ <p>[辛島町周辺～新町・古町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の風情を残し活かした高単価なお店が増えてきた(並木坂や市役所の裏から移転) ・アーケードと異なる客層を捉えた飲食店が立地 ・アーケードより賃料が安い 	<p>[中心商店街]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流行り廃りが激しく商売の方向性を見定めにくい <p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通り全体の街並みの統一感が必要。お店が点在しているため、外から来た人は魅力が分かりにくい ・個店のため一代で閉める店が多い <p>[下通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元資本ではない飲食店テナントが多いことへの違和感 ・県外の人がビルを買うが組合に入らない、アーケードを維持できない <p>[下通周辺]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スナックが抜け始めた古いビルは権利が複雑で誰も手を出さない <p>[シャワー通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション系の業態が長続きせずシャワー通りとして復活しきれない点が残念 <p>[新町・古町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔あった料亭がほぼなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本城を扇の要とし、複数の目的地となるエリアについて、異なる時間軸で考えていく(2040年頃を目指して) <p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は店舗が集積し、結果が出てきた途中段階。今後の可能性の芽をどう伸ばすか <p>[下通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期で課題が解決せず、周辺エリアの変化を睨みつつ長期視点で方向性を定めていく ・割り切って流行りの商業特化という選択肢もある <p>[辛島町周辺～新町・古町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーケードと異なる客層を捉えた、高単価で場所こだわのお店が増えてほしい ・可能性の芽をどう伸ばすか <p>[中心商店街]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け皿となる賃貸借等の調整機関やカウンターとなる専門家が必要 ・商店街においては、例えば、丸亀の再開発のような土地を信託しリーシングを行うような仕組みなども参考にしているかどうか ・テナントを埋めるだけでなく、まちなか居住を促進する取組も検討 	
緑・オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・坪井川や白川に熊本の街の地形や水の流を感じる ・坪井川沿いの人の流れがあり桜も植わって良い空間がある(市民が主体的に育て積み重ねてきた桜) 	<p>[坪井川沿い]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いの桜が活かされていない 	<p>[新庁舎～新中央区役所建設地周辺]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑を核にした公共空間の活用 	
回遊・滞在	<p>[中心商店街]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店先に椅子を出すなど、通りごとに歩行空間の工夫をしている ・市電とバス、公共交通で人が動いている 	<p>[地区全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末の交通渋滞 <p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者と車が混在 ・新区役所ができるか行きたい場所になっていない 	<p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの歩車のすみ分けを少しずつ進める 	<p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■制限速度を下げる ・急ぐ車が通りにくくなる状況をつくる
景観・空間 建物更新、 開発誘導		<p>[中心商店街]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者がおらず建物更新が進まない ・賃貸借の利害調整が進まない ・建築費・維持費が倍で今までのスキームが成立しない <p>[上乃裏通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造で再建築不可の物件が多く、火災対応など安全面の問題がある 	<p>・「タウン情報クマモト」のようなお店の情報+街を好きになる情報を発信</p>	<p>[新庁舎～新中央区役所建設地周辺]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■道路の付け替え ■デザイン・景観コードを周辺と共有する(時間軸は合わなくても) ■情報発信プラットフォームをつくる
情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ・「タウン情報クマモト」が無くなった ・お店によりSNSの発信力の差がある 		

ファシリテーターからのアドバイス

○結節点の周辺の民間敷地に対して何らかの提案アイデアを検討してみてもどうか。

○エリアイメージが形成された検討候補地について、その場所の良い点だけでなく、課題を深掘りすることで、アイデアにフィードバックをしていけるとよい。

○まちの周辺に面白いことが生まれるというのはある意味健全な姿であるが、また真ん中が面白くなり、その後また周りが面白くなり…という時間軸の流れも考えられると面白い。

	現況		理想の方向性・必要機能等	その他アイデア
	活かすべき資源	問題・改善点		
コンテンツ	[電車通り] ・ビルの1階をリノベーションをしてカフェのテナントをいれているところがある。	・熊本城観光をした後にまちで食事をする人は、昼の時間帯が多く、夜は減る ・福岡から日帰りツアーのバスが出ているなど、半日の滞在で観光が済むと思われる節がある [電車通り] ・オフィス街(金融系が多い)のため、休みの日は静か、人通りが少ない ・低層部に人が集まるコンテンツが少ない ・自社ビルが多く、1階がエントランスになっているビルが多いため、テナントに貸し出せるビルが少ない	・付加価値がある目的地を増やす ・単にブランドがある施設を誘致するだけでなく、エリアとしてのまちづくりを進める ・熊本のまちに泊まって欲しい、滞在時間を延ばしたい ・夜まで留まってもらえる複合的なコンテンツがあるとよい [現庁舎跡地] ・熊本城に近い立地を活かして、人を呼び込めるよう、行きたくなる機能が必要 ・市民向けか観光客向けか→両立を目指す、外から人を呼ぶことで、中の人にもお金を落としてもらうきっかけになる ・サクラマチと被らないようにする必要がある	■現庁舎跡地の用途：ミクストユース ・1~2階：商業、3~4階：自社ビル、上層階：ホテル等
回遊・滞在	[電車通り] ・沿道に緑がある、花壇で一人一花運動(パートナー花壇)を実施	[電車通り] ・オフィス街(金融系が多い)のため、休みの日は静か、人通りが少ない ・夜、建物の明かりがなくて暗い		
景観・空間	・熊本城を望める		[現庁舎跡地] ・行きたくなるシンボリックな空間ができる とよい	
建物更新、開発誘導	・比較的敷地や建物規模が大きい	【開発が進まない要因】 ・地権者を辿れない、多すぎる ・立ち退き交渉に時間がかかる ・建設費が高騰し、収支が合わない ・容積緩和、高さ規制の緩和をしても、なかなか収支が合わない ・単体での建替えは一定時期を経て戻ってこないといけないなど、あまり現実的ではない	[電車通り] ・都市活動の軸として活性化するとよい ・民間投資を呼び込みたい ・都市部では1階に商業機能が入った方が、上の階の賃料も上げられ、オーナーとしてもメリットがあるのでは ・行政によるインセンティブがあるとよい ・地権者、事業者目線では、現庁舎跡地がどうなるか→エリアとしてどうしていくかといった方向性が示されると、土地活用について考えやすい ・現庁舎跡地の他に、キーになる開発2~3つの方向性が見えるとよい	■低層部への賑わい用途導入支援 ・重点的な投資を呼び込むために、まずはエリアの環境を整える(人通りを増やす)ための行政支援(インセンティブ)を導入 →人通りが増える→賃料を上げられる→投資意欲を高める ・イニシャル投資の支援があることで、チャレンジする人を増やせるのでは ■共同建替への支援 ・ex. 熊本地震からの復興時に、グループ補助金で建て替わった事例が複数ある

ファシリテーターからのアドバイス

①投資を呼び込むための低層部の用途は、**エリアとしてどのような用途がよいか、どのような組み合わせがよいかなどの在り方**を考えてはどうか。
 ②人通りを増やすには各店舗だけでなく、下通など商店街方面や熊本城方面など、**電車通りを超えた点と点をつなぐ人通りを生む策**が必要。①とどう重ねるとよいかについても考えてはどうか。

○方針を実現するためのきっかりなアイデアが出てくるとよい。跡地のコンテンツが起爆剤として大事。
 ○低層部の空間的なつくり方の工夫が出てくると、連鎖的取組の工夫にもつながるのでは。

チーム4 「まちの回遊と、目的地となる魅力的な場所を増やすアイデアを考える」

	現況		理想の方向性・必要機能等	その他アイデア
	活かすべき資源	問題・改善点		
コンテンツ	[並木坂] ・音楽が聞こえるのが良い ・意外と藤崎宮前駅からの人の通りもある [上乃裏通り] ・古民家を活かした店舗が多い [並木坂・上乃裏通り] ・藤崎宮前駅からの人の流れがある（特に通勤する人） [銀座通り・西銀座通り] ・夜のにぎわいがある	[銀座通り・西銀座通り] ・昼は人通りが少ない	[銀座通り・西銀座通り] ・昼も夜もにぎわいのある通りにしたい	
緑・オープンスペース		・白川公園はあまり人がいない ・国道と白川で人の流れが分断されている		
回遊・滞在	[長堀通り] ・眺めが良く歩いてると気持ちが良い [新市街] ・下通⇄桜町・花畑町をつないでいる	・銀座通りから新庁舎の交差点（歩道橋）を使う人が少ない ・観光客は熊本城のみで商店街まで行かない人が多い ・街中を歩き回するには距離があるので疲れる [長堀通り] ・人の回遊は少ない ・ベンチはあるが座っている人は少ない ・行幸橋から西側は通りの名前がない [新市街] ・新市街を横断する車が怖い（北側の駐車場を利用する車が多い）	[電車通り] ・交差点の信号は、ベビーカーを使う人も渡りきれぬくらいの時間が確保できると良い	■電動キックボードシェア ・街中を歩き回るためにLUUPがあると便利 ■回遊を促すデッキ ・ペDESTリアンデッキ等、人の流れをつくる+街を眺められるようなネットワークがあると良い
(駐車場)	[下通東側(中央街等)] ・駐車場が多い	・移転に伴い現庁舎敷地、中央区役所、本庁舎敷地の駐車場が無くなるので不足分をどうするか ・駐車場は減っているが利用率はあまり変わっていない		■フリンジパーキングの整備 ・駐車場の需要が減っているなら、不足する分は無理につくるのではなく、外縁部につくる等の工夫が必要 ・駐車場に荷捌き場所を設けることで、渋滞の改善にもつながるのでは
(駐輪場)	・駐輪場が減少したが、稼働率は溢れていないため、チャリチャリの利用が増えたのでは		・自転車の利用が増えるのであれば、自転車専用道路があると良い ・通勤等にもチャリチャリが利用されると良い	
(公共交通)	・公共交通は起点～終点が選べる自由度がある ・滞在時間が長いというデータがある			■周遊バスがあると、すぐに乗れる、どこに行くか分かりやすい、子ども連れも乗りやすい等のメリットがある
景観・空間	・現庁舎からの眺めが良い ・市民会館等建物からの眺めが良い	[下通東側(中央街等)] ・平面駐車場が多く寂しい雰囲気がある ・風俗店が多く、駐車場を利用しても長居しようと思わない ・西岸寺公園は薄暗くて人が少ない		

ファシリテーターからのアドバイス

- 公共交通は自動車(駐車場利用)と比べて**起点と終点が変わられるという自由さ**を打ち出していくのがよい。
- 来街者の属性や目的に応じた**目的地、コンテンツ、動線等**をケーススタディ的に考察して検討を深めてみてはどうか。
- 観光客などターゲット別の惹きつけ方を想定し、**目的地の先にあるものを空間のつくり方で誘導**するようなことも含めて検討してみてはどうか。

	現況		理想の方向性・必要機能等	その他アイデア
	活かすべき資源	問題・改善点		
コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ○熊本らしさ <ul style="list-style-type: none"> ・九州のへそに位置 ・まちがコンパクトで福岡ほど大き過ぎず、小さ過ぎない ・“わさもん”という言葉があり、熊本の人には新しいものが好きでトレンドに敏感 ・綺麗な地下水が魅力で、川沿いから始まった商売がある ・食の素材が美味しい ○エリアの個性 <ul style="list-style-type: none"> ・並木坂：石畳、オークス通り：ブティック ・上通、上乃裏通り：ブティック、住商混在 ・通町筋：中規模商業施設 ・下通周辺：商業集積、蔦屋 ・シャワー通り周辺：石畳、スタバ・マック 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服が売れづらくなった 	<ul style="list-style-type: none"> [上通周辺] <ul style="list-style-type: none"> ・マンション建設が進み、まちなか居住も一つのテーマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なまちづくりに向けてエリアマネジメントの視点が重要
緑・オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・白川公園の緑 ・オークス通りの小自然 			
回遊・滞在	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市のまちなかは、西環状道路・北バイパス・東バイパス等に囲まれた中に位置し、周辺には熊本駅・上熊本駅・水前寺・南熊本駅等が存在 ・まちなかは熊本空港と海の中央に位置 ・まちなかへの入り口となる結節点が大事(辛島町・行幸坂・現庁舎前・通町筋・藤崎宮前駅から並木通りへの交差点など) ・市電通り(熊本城～通町筋)は、熊本城とまちをつなぐ大事な軸 ・桜町バスターミナルを起点としつつ、行きと帰りのバス停等の起点は異なる 	<ul style="list-style-type: none"> ・[辛島町南側] 通町筋・桜町周辺地区と新町・古町地区の境界部分にあるため、地区の位置付けが分かり辛い 	<ul style="list-style-type: none"> [まちなかへのアクセス] <ul style="list-style-type: none"> ・空港からのアクセスをいかにスムーズにするかが課題 [熊本城～まち] <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城とまちをどうつなぎ、人の流れをつくるかが課題 [辛島町南側] <ul style="list-style-type: none"> ・周辺とどうつなぐかが課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・新区役所前にバスや市電の停留所を集約してはどうか [熊本城～まち] <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎からペDESTリアンデッキをつなぎまちに人を流せるとよいが、眺望を妨げる [新庁舎～新中央区役所建設地周辺] <ul style="list-style-type: none"> ・花畑ポンプ場周辺を活かして、賑わい施設ができるとよい ・現庁舎向かいの三角地をゲートにして、熊本城からまちに観光客を導いてはどうか
景観・空間	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかから熊本城を望める視点場(電車通りなど景観計画に位置付けのない視点場もある) [長堀通り] <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城から観光客が歩く場所 [庁舎跡地] <ul style="list-style-type: none"> ・まちのシンボルとなる場所 [並木坂・シャワー通り] <ul style="list-style-type: none"> ・石畳の舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎からペDESTリアンデッキが連続してまちに人を流せるとよいが、東西に横切るとシンボルプロムナードからの眺望を妨げてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> [まちなかから城への眺望] <ul style="list-style-type: none"> ・まちから城への眺望を残すことが大事(例：船場橋や花畑町交差点からの眺望など) [新区役所] <ul style="list-style-type: none"> ・屋上は宮下公園のようにしてはどうか [庁舎跡地] <ul style="list-style-type: none"> ・居住・オフィス・観光など、ターゲットを最大化したい ・ホテル・居住・商業が考えられるが、事業性を持たせるにはどうすればよいか ・例えばまちなかのタネ地としての受け皿になれば、連鎖的な動きにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> [庁舎跡地] <ul style="list-style-type: none"> ・長崎の事例のようにアリーナ(例えばヴォルターズが使うような場所)やホテルが入ってもいいと思う

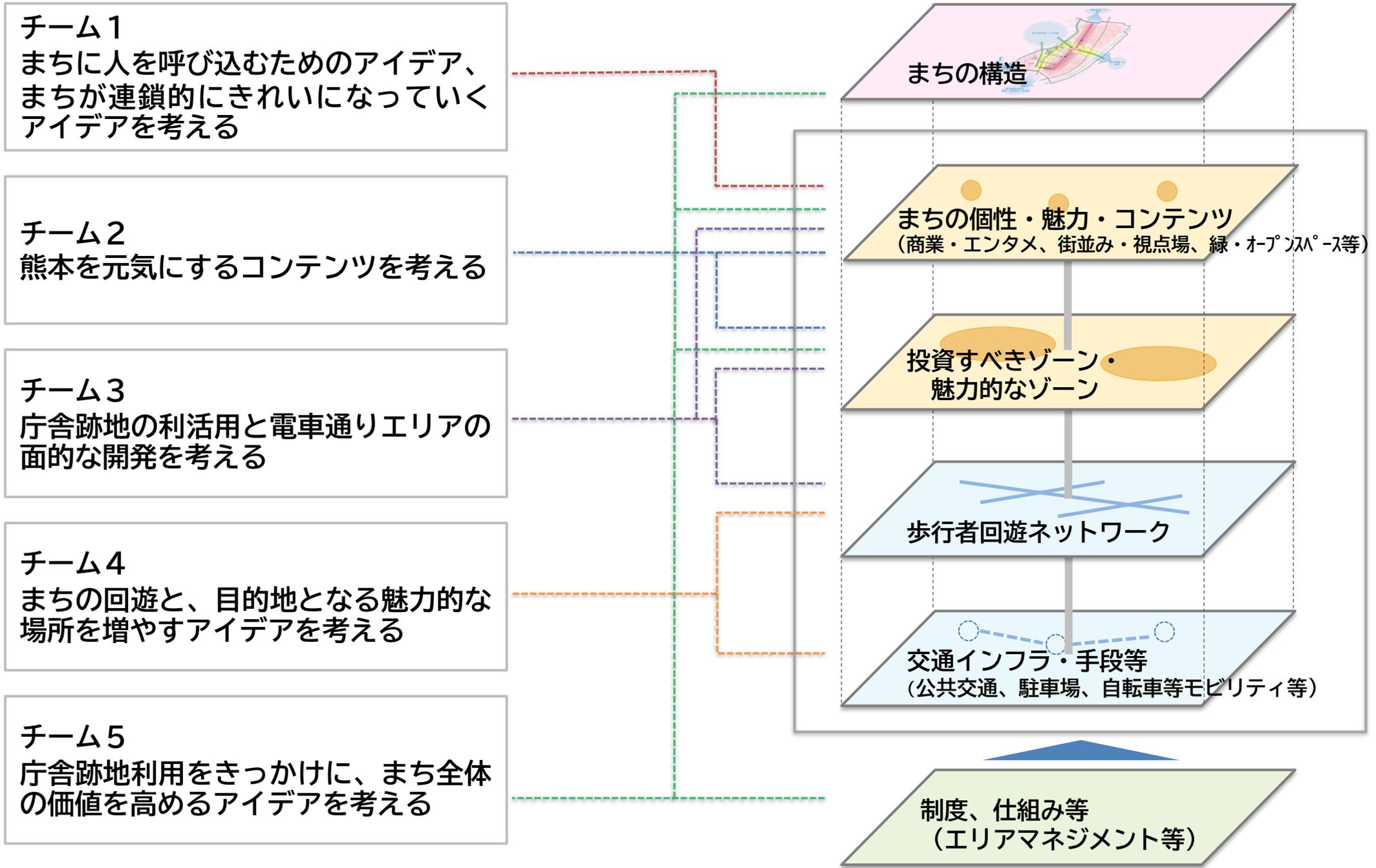
ファシリテーターからのアドバイス

- 現庁舎跡地をまちのゲートとしたときの役割と、跡地のコンテンツのバランス**を検討してはどうか。コンテンツを通して新しい熊本に出会えるような、コンテンツ自体がまちへの入口になるようなことを考えてみてはどうか。
- 庁舎跡地に人を惹きつけ、周辺の熊本らしさを楽しんでもらってはどうか。**周辺都市との差別化、熊本らしさ**など、議論の深掘りが進むと良い。
- まちなかでアイレベルから熊本城がどう見えるか、点だけでなくシークエンスで見える通りなど、いろいろなお城の見え方を大事にし、さらに**新しい視点場や見え方**を、跡地活用と絡めて検討してほしい。サクラマチでは借景と貸景の考え方を取り入れている。**お城からどう見えるか**という視点を、ぜひ跡地にも取り入れてほしい。

3. 前回の振り返り

2) 第3回までのまとめ

第3回までのまとめ（各チームの議論の階層イメージ）



第3回までのまとめ（各チームの意見統合版）

第5回以降でアップデート

現状に関する意見	
環境資源	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本らしさ <ul style="list-style-type: none"> ①九州の中心に位置する、コンパクトなまち ②トレンドに敏感 ③豊かな水と食材の美味しさが魅力 ●通り・エリアごとの個性がある <ul style="list-style-type: none"> ①アーケード街の軸とにぎわい ②文化・歴史・空間デザインが通りの雰囲気や滞在体験の質を特徴づけている ③独自のコンセプトやリノベーションされた店舗が通り毎の個性を生み出している ④熊本城周辺の歴史や緑資源がまちの象徴的なコンテンツになっている ⑤ナイトタイムのにぎわいがある ●利便性の高いエリアでマンションが増えている ●公園内に茶室や庭園など落ち着いた空間がある
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客の滞在は昼中心で日帰りも多い ●多世代・子ども向け施設の不足 ●EC普及による小売りへの影響など、業態の見通しが立てにくい ●ナショナルチェーンの増加により地元資本が減少 ●商店街の良さや個性などの継承の仕組みが不足
必要機能等	<ul style="list-style-type: none"> ●低層部にカフェやランチができる場所がほしい ●学生向け自習スペースがほしい ●白川公園をもっと活用したい ●屋内の遊び場がほしい ●夜まで滞在可能な複合施設がほしい ●市民が利用しやすい小規模なホール等がほしい ●歴史を感じさせるイベントを復活させたい ●出店調整や賃貸借支援を担う専門的な役割が必要

緑・オープンスペース	
環境資源	<ul style="list-style-type: none"> ●公園・広場等のオープンスペース <ul style="list-style-type: none"> ①来街者の滞在や憩いの場となる大きな広場がある ②まちなか回遊の休憩場所となる小さな広場がある ③民間開発により創出された分散型のオープンスペースがある ●河川や街路樹など都市の中に豊かな緑がある
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●中心商店街周辺には魅力的な広場が不足 ●白川公園はあまり活用されていない ●アクセスしやすい緑が不足 ●オープンスペースが上手くつながっていない
必要機能等	<ul style="list-style-type: none"> ●白川公園をもっと活用したい

まちの将来像（第4回ビジョンゲームで検討）

まちづくりの方針（第5回で検討）

取組の方向性に関する意見	取組アイデアに関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ■目的地となる魅力あるゾーンをたくさんつくる <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城を扇の要とし、複数の目的地となるエリアについて、2040年頃を目指して異なる時間軸で考えていく ・付加価値がある目的地を増やす。単にブランドがある施設を誘致するだけでなく、エリアとしてのまちづくりを進める ・熊本のまちに泊まって欲しい、滞在時間を延ばしたい ■若者・ファミリーなど多様な世代がまちなかに来る目的地をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかを若者、子ども、家族連れの場合にしたい ■通り・エリアごとの方向性の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・[下通]短期で課題が解決せず、周辺エリアの変化を睨みつつ長期視点で方向性を定めていく。割り切って流行りの商業特化という選択肢もある ・[銀座通り・西銀座通り]昼も夜もにぎわいのある通りにしたい ■エリア特性の継承と育成 <ul style="list-style-type: none"> ・[上乃裏通り]現在は店舗が集積し、結果が出てきた途中段階。今後の可能性の芽をどう伸ばすか ・上乃裏通りの良さを継承していくためにどのような仕組みでアプローチするか ・[辛島町周辺～新町・古町]アーケードと異なる客層を捉えた、高単価で場所にこだわってお店が増えてほしい。可能性の芽をどう伸ばすか ■出店調整・リーシング支援を行うマネジメント体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・[中心商店街] (例)丸亀方式のように土地を信託しリーシングを行うような仕組みなども参考にしている ■まちなか居住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・テナントを埋めるだけでなく、まちなか居住を促進する取組も検討 ・[上通周辺]マンション建設が進み、まちなか居住も一つのテーマ 	<ul style="list-style-type: none"> ■金券による回遊促進(動線づくり) <ul style="list-style-type: none"> ・屋台村から始めるのはどうか ■観光客が来て楽しめるイベントの造成 ■子ども向け施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・既存常設展示等)施設を子ども向けに使う(美術館の常設展示等) ■各エリアにエリアマネジメントの考え方を展開 <ul style="list-style-type: none"> ・エリア毎に検討
<ul style="list-style-type: none"> ■魅力的なオープンスペースのネットワーク形成 ■広場の多用途化 <ul style="list-style-type: none"> ・広場の効果的な活用 ・[白川公園]をもっと活かしたい(過去には植木市、早起き野球、サーカス等が行われていた) ■河川空間の活用強化 <ul style="list-style-type: none"> ・[白川]の兩岸の緑(オープンスペース)を活かしたい ■緑・水を核とした公共空間活用 <ul style="list-style-type: none"> ・[新庁舎～新中央区役所建設地周辺] 	<ul style="list-style-type: none"> ■オープンスペースの確保・ネットワーク化の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペースを確保し、連続させるための補助等の仕組みをつくる ■広場の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・白川公園のイベント活用 ■水辺空間の利活用 ■新庁舎周辺の公共空間活用

第3回までのまとめ（各チームの意見統合版）

第5回以降でアップデート

現状に関する意見	
街並み・景観	<p>環境資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちなかにたくさんの多様な視点場がある ●唯一無二の城下町の景観がある ●セットバック・高質化空間で豊かな歩行者空間を形成している通りもある <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●視点場を阻害するようなデッキ整備は不要 ●建物や街並みがバラバラで通りの印象が付きづらい ●平面駐車場が多くさびしいエリア ●風俗エリアは長居しづらい <p>必要機能等</p>

街並み・景観	<p>環境資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商業が集積するにぎやかな中心商店街 ●電車通り沿いは敷地規模が大きく、規模の大きな都市機能が立地している ●古い物件の魅力と新しい出店者を受け入れる寛容さ ●TSMC波及効果への期待 <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夜にぎやかなゾーンは昼のにぎわいが少ない ●商業地で店舗等がマンションに建て替わってきている ●オフィスゾーンは滞在コンテンツ・人通りが少ない ●開発が進まない要因 <ol style="list-style-type: none"> ①権利者が複雑 ②物価高騰で既存の規制緩和だけではインセンティブが不足 ③建替えは事業を一時止めてしまうため踏み切れない <ul style="list-style-type: none"> ●狭あい道路沿いに木造建物が集積するゾーンは防災上の問題がある ●良いところがあるが魅力が知られてないゾーンもある <p>必要機能等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規産業の受け皿がほしい
--------	---

まちの将来像（第4回ビジョンゲームで検討）

まちづくりの方針（第5回で検討）

取組の方向性に関する意見	取組アイデアに関する意見
<p>■城への視点場保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちから城への視点場を残すことが大事（例：船場橋や花畑町交差点からの眺望など） ・[洗馬橋東側、花畑町交差点]まちから城への眺望を残すことが大事 ・[洗馬橋東側、花畑町交差点]花畑町交差点からの眺望は、城との間に高い建物が建たないことが前提 <p>■通り単位の空間デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りをきれいにする仕組みづくりが必要 ・[現庁舎跡地]行きたくなるシンボリックな空間ができるとよい ・[新区役所]屋上は宮下公園のようにしてはどうか 	<p>■</p> <p>■通りごとの取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りごとの組合組成や勉強会を行う ・通りごとのルールづくりや行政との協働を進める ・まちづくりラボの継続のような場を設ける <p>■デザイン・景観コード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[新庁舎～新中央区役所建設地周辺]デザイン・景観コードを周辺と共有する（時間軸は合わなくても）
<p>■「都市活動の軸」の活性化、投資の呼び込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]都市活動の軸として活性化するとよい ・民間投資を呼び込みたい ・都市部では1階に商業機能が入った方が、上の階の賃料も上げられ、オーナーとしてもメリットがあるのでは ・行政によるインセンティブがあるとよい ・地権者、事業者目線では、現庁舎跡地がどうなるか→エリアとしてどうしていくかといった方向性が示されると、土地活用について考えやすい ・現庁舎跡地の他に、キーになる開発2～3つの方向性が見えるとよい <p>■現庁舎跡地の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城に近い立地を活かして、人を呼び込めるよう、行きたくなる機能が必要（サクラマチと被らないようにする必要がある） ・市民向けか観光客向けか→両立を目指す、外から人を呼ぶことで、中の人にもお金を落としてもらうきっかけになる ・居住・オフィス・観光など、ターゲットを最大化したい ・ホテル・居住・商業が考えられるが、事業性を持たせるにはどうすればよいか ・まちなかのタネ地としての受け皿になれば、連綿的な動きにつながる <p>■</p> <p>■産業動向への対応・機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TSMCの波及効果を活かす（産業拠点の倉出、デジタルサービスの強化等） 	<p>■共同建替への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震からの復興時に、グループ補助金で建て替わった事例が複数ある <p>■低層部への賑わい用途導入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]重点的な投資を呼び込むために、まずはエリアの環境を整えるための行政支援（インセンティブ）を導入→1Fに賑わい機能を導入し、人通りを増やす→賃料を上げられる→投資意欲を高める ・イニシャル投資の支援があることで、チャレンジする人を増やすのでは <p>■現庁舎跡地の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途はミクストユースにしては（例）1～2階：商業、3～4階：自社ビル、上層階：ホテル等 ・アリーナやホテルがトレンド ・長崎の事例のようにアリーナ（例えばヴォルターズが使うような場所）やホテルが入ってもいいと思う <p>■道路の付け替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[新庁舎～新中央区役所建設地周辺] <p>■</p>

第3回までのまとめ（各チームの意見統合版）

第5回以降でアップデート

現状に関する意見	
環境資源	<ul style="list-style-type: none"> ●交差点と辻がまちのゲートになっている ●まちなかに2つの交通結節点がある ●電車通りが公共交通の骨格軸 ●商店街周辺に歩行者中心の回遊インフラがある ●店先空間が活用されにぎわいのしみ出しがある ●河川沿いに魅力的な歩行者空間がある
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●回遊の不足 ①幹線道路や河川等で人の流れが分断されている ②観光動線が熊本城周辺に集中し、商店街方面への回遊が生まれにくい ③用途特性等により人通りが少ない通りがある ④まちなか全体を回遊するにはそれなりの距離がある ●歩行空間の問題 ①歩きたくなる魅力に欠ける通りがある ②歩行者と車が混在し、安全性や安心感が低い通りがある ③夜間は暗く歩きにくい通りがある
必要機能等	<ul style="list-style-type: none"> ●ペDESTリアンデッキがあるとよいが、眺望や動線も含めて検討が必要 ●中央区役所の建設を契機に明るい通りの整備が必要
環境資源	<ul style="list-style-type: none"> ●道路、鉄道、空港など、広域交通動線のまんなかにまちなかが位置 ●市電・バスの利便性が高く、選択肢が多い
問題点	●空港からまちへのアクセスに時間がかかる
必要機能等	●まちなかを周遊できる、分かりやすい公共交通があるとよい
環境資源	<ul style="list-style-type: none"> ●道路、鉄道、空港など、広域交通動線のまんなかにまちなかが位置 ●まちなかに駐車場がたくさんある ●シェアサイクルが普及してきた
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●空港からまちへのアクセスに時間がかかる ●まちなかの交通渋滞が深刻 ●駐車場の減少数と需要を踏まえた台数の確保（足りないと言われるが、足りているかもしれない）
必要機能等	<ul style="list-style-type: none"> ●シェアサイクルの普及に伴い、自転車を利用しやすい専用道が整備されるとよい ●新たなシェアモビリティなど選択肢を増やしたい
環境資源	
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重な紙媒体の地元情報紙がなくなった ●SNSは優勝劣敗がある
必要機能等	●地域情報を発信するプラットフォームが必要

まちの将来像（第4回ビジョンゲームで検討）

まちづくりの方針（第5回で検討）

取組の方向性に関する意見	取組アイデアに関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ■熊本城～まちなかの動線強化 <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城とまちの回遊を高めて観光客を集客する ・[熊本城～まち]熊本城とまちをどうつなぐ、人の流れをつくるかが課題 ■まちへの入口となるノードの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・[新庁舎～新中央区役所建設地周辺]花畑ポンプ場周辺を活かして、賑わい施設ができるとよい ■エリア全体への回遊の波及 <ul style="list-style-type: none"> ・上通、上乃裏通り、白川公園の回遊性を高めたい。総合庁舎跡地も加えて何かできないか ・[辛島町南側]周辺とどうつなぐかが課題 ■人中心の歩行環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・[上乃裏通り]昔からの歩車のすみ分けを少しずつ進める ・[上乃裏通り]歩行者空間化 ・[電車通り]交差点の信号は、ベビーカーを使う人も渡りきれるくらいの時間が確保できると良い ・電車通りをトランジット化したい ■広域のアクセスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・空港からまちへのアクセスをいかにスムーズにするかが課題 ■公共交通の利用促進による回遊促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■熊本城の開かずの門を開く <ul style="list-style-type: none"> ・(上通りに土産店ができるなどを期待) ■回遊を促すペDESTリアンデッキの整備 ※ただし眺望は確保 ■まちへのゲート空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎向かいの三角地をゲートにして、熊本城からまちに観光客を導いてはどうか ・新区役所前にバスや市電の停留所を設置 ■ ■自動車の制限速度の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・[上乃裏通り]制限速度を下げ、急ぐ車が通りにくくなる状況をつくる ■ ■周遊バス ■ ■駐車場再配置 ■荷捌き機能整備 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場に荷捌き場所を設けることで、渋滞の改善にもつながるのでは ■駐車場税の導入 ■マイクロモビリティの活用 ■ ■情報発信プラットフォームをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・「タウン情報クマモト」のようなお店の情報+街を好きになる情報を発信

坪井川

- 熊本の街の地形や水の流を感じる
- 坪井川沿いの豊かな緑
- 坪井川沿いの人の流れがあり桜も植わって良い空間がある(市民が主体的に育て積み重ねてきた桜)
- 桜は人を呼ぶコンテンツの一つ

長堀通り

- 熊本城から観光客が歩く場所
- 眺めが良く歩いてると気持ちが良い
- 季節ごとに様々な景色を見られる

電車通り

- 比較的敷地や建物規模が大きい
- 1階をリノベーションしてカフェのテナントを入れているビルがある
- 電車通り沿いは、熊本城とまちをつなぐ大事なゾーン
- 市電とバス、公共交通で人が動いている
- 沿道に緑がある、花壇で一人一花運動(パートナー花壇)を実施

下通周辺

- 人通りが多い。昼は買い物ができ、夜は美味しいものを楽しめる
- 若い人が遅くまで滞在し、夜の賑わいがある
- アーケードに風俗店を入れないよう商店街が踏ん張ってきた
- [銀座通り・西銀座通り]夜のにぎわいがある

商業核(桜町・花畑地区)

- 買い物や映画など楽しめる場所が多い
- 屋上からの見晴らしが良い
- 都心のオープンスペース
- 多くのイベントが開催され、にぎわいがある

新市街

- 下通⇄桜町・花畑町をつないでいる

シャワー通り

- 歩道が広く落ち着いた雰囲気がある
- 石畳の設えが良い
- コンセプトのあるお店が多い(イギリスの服等)

辛島町周辺～新町・古町

- 昔の風情を残し活かした高単価なお店が増えてきた(並木坂や市役所の裏から移転)
- アーケードと異なる客層を捉えた飲食店が立地
- アーケードより賃料が安い

熊本城周辺

- 熊本城、二の丸広場、城彩苑、周辺の歴史的遺産
- お城の緑と景観

●商店街周辺に歩行者中心の回遊インフラがある

- 並木坂から新市街までの軸線を横断する細街路
- 上通りから新市街の流れ
- [並木坂・上乃裏通り]藤崎宮前駅からの人の流れがある(特に通勤する人)

並木坂

- 音楽が聞こえるのが良い
- 石畳の設えが良い
- 飲食店・美容室・スーパーがあり、マンションが増え、住むには良い環境が整っている

上通周辺

- 熊本らしい文化が蓄積された通り(熊本にしかないお店、隠れ家的に探す楽しさ)
- 夜になると人がずっと引く、下通との色合いの違いがある

上乃裏通り

- 古民家を活かしてリノベした雰囲気のある個性的な店舗が多い
- 家賃が比較的安く若い人や個人店がチャレンジしやすい環境がある
- 画一的ではない建物(戸建て)が並び、多様な業態を受け入れられる
- 自分の飲食店や物販店のコンセプトに合った物件を見つけやすい

白川公園

- まちなかのグリーンスポット
- 開放感がありリラックスできる
- 茶室・庭園の意匠が素敵

オークス通り

- 街路樹の風格とブティック
- 通りの雰囲気とグランジャー熊本のセットバック空間が良い

商業核(通町筋地区)

- 多様な催しがいつでもある
- 市民誰もが気軽に文化・アートに触れあえるオープンスペース
- 品揃えが豊富でお土産も買える
- 通町筋から熊本城がきれいに見える

蓮政寺公園

- まちを歩く人の休憩スペース

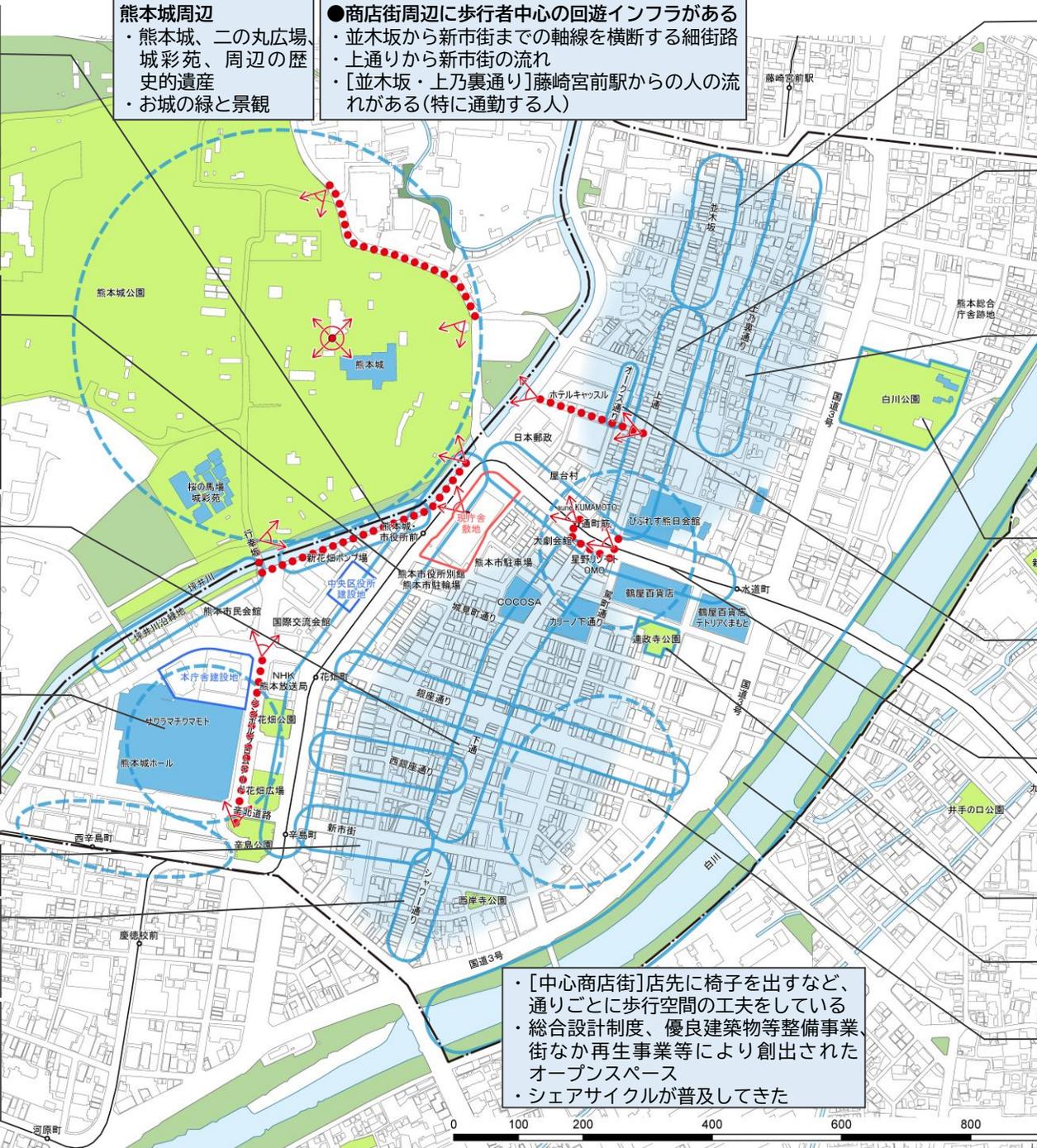
白川

- 川沿いの豊かな緑
- ちゃりんぼ道

下通東側(中央街等)

- 駐車場が多い

- [中心商店街]店先に椅子を出すなど、通りごとに歩行者空間の工夫をしている
- 総合設計制度、優良建築物等整備事業街なか再生事業等により創出されたオープンスペース
- シェアサイクルが普及してきた



下通周辺

- ・地元資本ではない飲食店テナントが多いことへの違和感
- ・県外の人がビルを買うが組合に入らないためアーケードを維持できない
- ・路地にランチができる飲食店が増えるとよい
- ・[銀座通り・西銀座通り]昼は人通りが少ない
- ・[光琳寺通り]、[西銀座通り]、[プールコート通り]などはもっと街並みの連続性があるとよい
- ・スナックが抜け始めた古いビルは権利が複雑で誰も手を出さない

長堀通り

- ・人の回遊は少ない、ベンチはあるが座っている人は少ない
- ・行幸橋から西側は通りの名前がない。

坪井川

- ・夜は暗くて近寄りにくい

新庁舎周辺

- ・視点を阻害するようなデッキ整備は不要
- ・ペDESTリアンデッキがあるとよいが、眺望や動線も含めて検討が必要
- ・新区役所ができるが行きたい場所になっていない
- ・中央区役所の建設を契機に明るい通りの整備が必要

電車通り

- ・オフィスゾーンは滞在コンテンツ・人通りが少ない
- ・オフィス街(金融系が多い)のため、休日は静かで人通りが少ない
- ・夜、建物の明かりがなくて暗い
- ・銀座通りから新庁舎の交差点(歩道橋)を使う人が少ない

銀座通り

- ・景観の向上が必要

新市街

- ・新市街を横断する車が怖い(北側の駐車場を利用する車が多い)

辛島町南側

- ・通町筋・桜町周辺地区と新町・古町地区の境界部分にあるため、地区の位置付けが分かり辛い

新町・古町

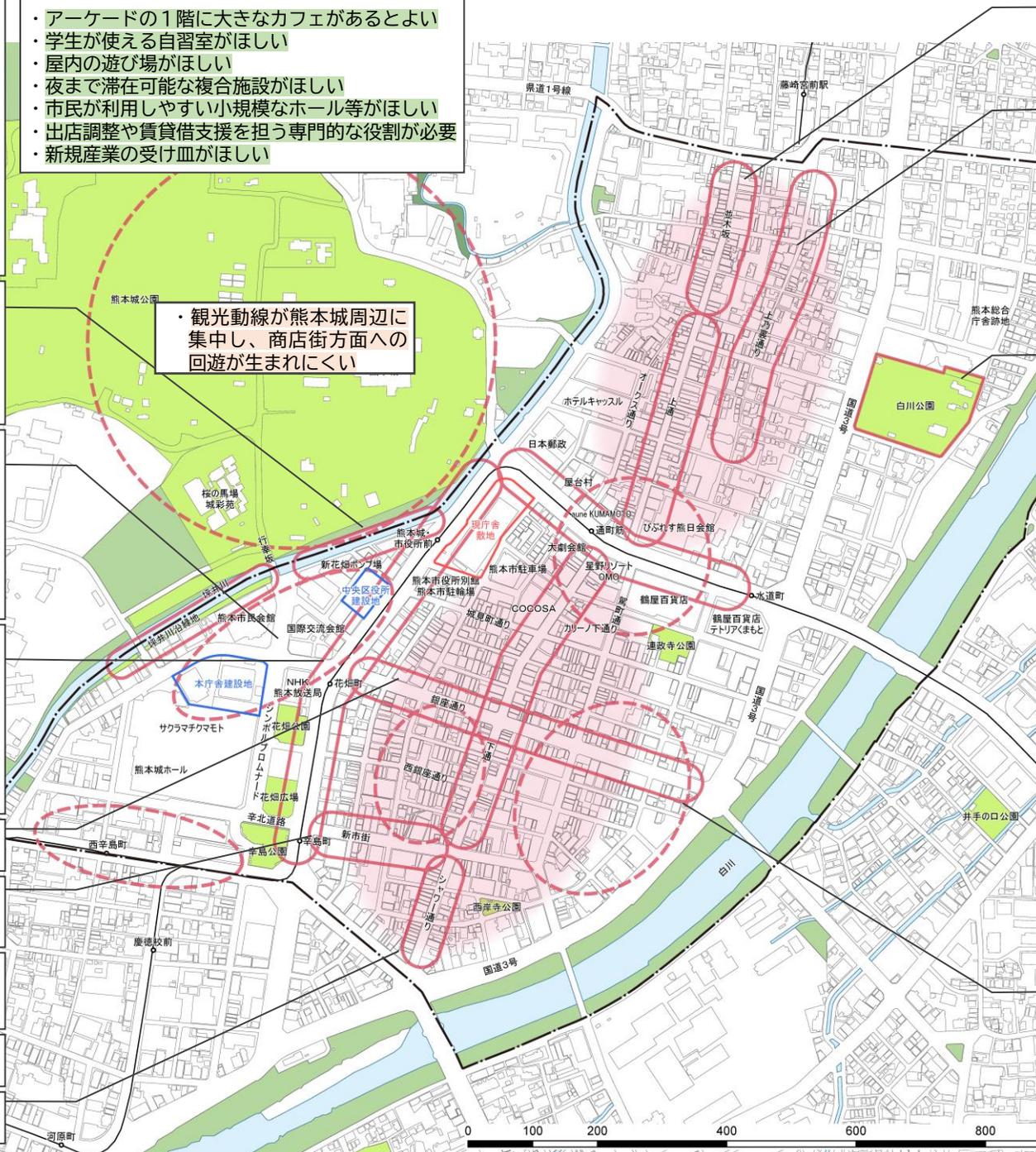
- ・昔あった料亭がほぼなくなった

シャワー通り

- ・ファッション系の業態が長続きしない

- ・アーケードの1階に大きなカフェがあるとよい
- ・学生が使える自習室がほしい
- ・屋内の遊び場がほしい
- ・夜まで滞在可能な複合施設がほしい
- ・市民が利用しやすい小規模なホール等がほしい
- ・出店調整や賃貸借支援を担う専門的な役割が必要
- ・新規産業の受け皿がほしい

・観光動線が熊本城周辺に集中し、商店街方面への回遊が生まれにくい



- ・商業地で店舗等がマンションに建て替わってきている

上乃裏通り

- ・個店のため一代で閉める店が多い
- ・通り全体の街並みの統一感がなく、お店が点在しているため、外から来た人は魅力が分かりにくい
- ・上乃裏通り付近の良さを継承していく仕組みや制度がない
- ・木造で再建築不可の物件が多く、火災対応など安全面の問題がある
- ・歩行者と車が混在し、安全性や安心感が低い

白川公園

- ・あまり人がおらず、活用されていない
- ・もっと活用したい(過去には植木市、早起き野球、サーカス等が行われていた)

- ・中心商店街周辺には魅力的な広場が不足
- ・アクセスしやすい緑が不足
- ・オープンスペースが上手くつながっていない

- ・幹線道路や河川等で人の流れが分断されている

- ・空港からまちへのアクセスに時間がかかる
- ・まちなかの交通渋滞が深刻
- ・駐車場の減少と需要を踏まえた台数の確保(足りないと言われるが、足りているかもしれない)
- ・まちなかを周遊できる、分かりやすい公共交通があるとよい
- ・シェアサイクルの普及に伴い、自転車を利用しやすい専用道が整備されるとよい
- ・新たなシェアモビリティなど選択肢を増やしたい

下通東側(中央街等)

- ・平面駐車場が多く寂しい雰囲気がある
- ・西岸寺公園は薄暗くて人が少ない
- ・風俗エリアは長居しづらい

4. 本日のプログラム説明

キックオフ

第1回 キックオフ ～まちの現状と未来への視点～

令和7年11月16日

- ・現況データのインプット
- ・現状認識と方向性の共有
- ・「レコメンドしたい場所・こと」、「ラボで今後話し合いたいこと」についてディスカッション

取組テーマの決定

第2回 取り扱うまちづくりのテーマ設定

令和7年12月7日

- チーム1 まちに人を呼び込むためのアイデア、まちが連鎖的にきれいになっていくアイデアを考える
- チーム2 熊本を元気にするコンテンツを考える
- チーム3 庁舎跡地の利活用と電車通りエリアの面的な開発を考える
- チーム4 まちの回遊と、目的地となる魅力的な場所を増やすアイデアを考える
- チーム5 庁舎跡地利用をきっかけに、まち全体の価値を高めるアイデアを考える

第3回 想定するプレイヤーや利用者などの設定+現状の共有

令和7年12月21日

(①活かすべき資源、②問題・改善点、③必要な機能・仕組み 等)

第4回 将来像・利用シーンの検討

令和8年2月22日

- これまでの検討結果をベースとしながら、将来像（物語）を検討
- どのような利用シーンが具体的に創出できるかを検討

※これまでの検討を踏まえ、より良い取組アイデアを検討していくために、第4回では、ビジョンゲームの手法を取り入れ、2040年頃の将来を見据えた具体的なシーンのイメージを膨らませていきます。(次頁参照)

第5回 方針（≒課題）及び実現のための取組アイデア

令和8年5月17日

第6回 将来像から方針と取組アイデアを見直す

令和8年7月5日

- 設定された将来像から、方針や取組アイデアの見直しを行う

現況・課題の共有

まちづくりの方針と取組アイデア

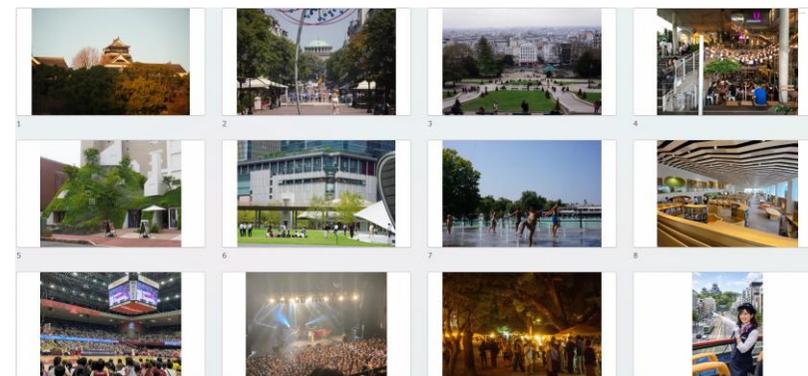
1) ビジョンゲームの趣旨

- これまでの検討を踏まえ、より良い取組アイデアを検討していくために、第4回では、ビジョンゲームの手法を取り入れ、2040年頃の将来を見据えた具体のシーンのイメージを膨らませていきます。
- 第5回では、これまでの議論と将来イメージをもとに、取組アイデアのアップデートを行っていきます。



2) ビジョンカードの説明

- ①国内外のまちなかの「暮らしの風景」を集めた写真カードです。
- ②共通カード(44枚)は、ワークショップで出た意見をもとに選定しています。
- ③さらにチーム毎に特化した写真(5~6枚)を追加し、合計50枚程度で構成しています。



テーブル上に写真を広げて下さい

写真からヒントを得て、自由にイメージを広げるためのツールです
(整備内容やデザインにとらわれず、感じたことを大切にしてください)

5. グループワーク:

2040年のまちの姿(過ごし方、楽しみ方)をイメージする
ー働き、商い、住まい、憩い、訪れる人の「まちの物語48時間」ー

2040年のまちの姿(過ごし方、楽しみ方)をイメージする
一働き、商い、住まい、憩い、訪れる人の「まちの物語48時間」一

①「いいね！」と思う写真を選択(13分)

②「物語カード」に記入(15分)

③グループ内で発表(15分)

④「まちの物語48時間」の作成(25分)

✓対話の中からアイデアを追加してOK

✓他の写真を追加して切ったり貼ったりしてOK

✓物語のタイトルを決める

物語カード

写真番号

①場所のイメージがあれば○を記入してください。

倉舎跡地 / 公園 / 車道 / 歩道 / 店舗軒先 /
再開発 / () 通り

その他:

②選んだ理由

メモ

次回日程

令和8年5月17日(日) 14~16時@アートロフト(予定)

キックオフ

第1回 キックオフ ~まちの現状と未来への視点~

令和7年11月16日

- ・現況データのインプット
- ・現状認識と方向性の共有
- ・「レコメンドしたい場所・こと」、「ラボで今後話し合いたいこと」についてディスカッション

取組テーマの決定

第2回 取り扱うまちづくりのテーマ設定

令和7年12月7日

- チーム1 まちに人を呼び込むためのアイデア、まちが連鎖的にきれいになっていくアイデアを考える
- チーム2 熊本を元気にするコンテンツを考える
- チーム3 庁舎跡地の利活用と電車通りエリアの面的な開発を考える
- チーム4 まちの回遊と、目的地となる魅力的な場所を増やすアイデアを考える
- チーム5 庁舎跡地利用をきっかけに、まち全体の価値を高めるアイデアを考える

まちづくりの方針と取組アイデア

第3回 想定するプレイヤーや利用者などの設定+現状の共有

令和7年12月21日

(①活かすべき資源、②問題・改善点、③必要な機能・仕組み 等)

第4回 将来像・利用シーンの検討

令和8年2月22日

- これまでの検討結果をベースとしながら、将来像(物語)を検討
- どのような利用シーンが具体的に創出できるかを検討

第5回 方針(≒課題)及び実現のための取組アイデア

令和8年5月17日

現況・課題の共有

第6回 将来像から方針と取組アイデアを見直す

令和8年7月5日

- 設定された将来像から、方針や取組アイデアの見直しを行う